



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月2日

上場会社名 丸大食品株式会社
 コード番号 2288 URL <http://www.marudai.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百済 徳男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 加藤 伸佳
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 072-661-2518

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	59,363	4.9	1,490	9.4	1,566	10.4	1,057	6.9
29年3月期第1四半期	56,600	0.5	1,645	53.7	1,747	54.4	1,135	61.5

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,936百万円 (145.5%) 29年3月期第1四半期 788百万円 (57.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	8.04	
29年3月期第1四半期	8.64	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	133,458	77,171	57.5	583.88
29年3月期	129,339	76,290	58.6	577.20

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 76,729百万円 29年3月期 75,852百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				8.00	8.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	120,000	3.7	2,850	3.4	3,050	0.8	1,900	1.5	14.46
通期	240,000	3.3	5,000	6.1	5,400	0.4	3,300	0.5	25.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	132,527,909 株	29年3月期	132,527,909 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	1,114,177 株	29年3月期	1,113,662 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	131,414,083 株	29年3月期1Q	131,416,951 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の先行きが懸念される一方で、雇用・所得環境の改善などから景気は緩やかな回復基調が続きましたが、個人消費につきましては伸び悩みが見られるなど、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

加工食品事業につきましては、お客様の節約志向の強まりなどを背景に、競合他社との価格競争が激化するなど、環境は一段と厳しさを増しております。また、食肉事業につきましては、国産牛肉の相場が前年に比べて下回る一方で、米国産牛肉の現地相場は前年を上回りました。国産豚肉及び米国産豚肉の現地相場は総じて前年並みに推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、お客様に、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指し、「基幹事業の拡大と次なる柱の育成」「商品開発力、技術力の強化」などの基本方針を軸に企業活動を推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期比4.9%増の593億63百万円、営業利益は同9.4%減の14億90百万円、経常利益は同10.4%減の15億66百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同6.9%減の10億57百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高 (注)			セグメント利益		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	39,981	41,050	1,068 (2.7%)	1,158	801	△356 (△30.8%)
食肉事業	16,576	18,278	1,702 (10.3%)	435	651	215 (49.3%)
その他	42	34	△8 (△19.3%)	51	37	△13 (△27.2%)
合計	56,600	59,363	2,762 (4.9%)	1,645	1,490	△155 (△9.4%)

(注) 売上高には、セグメント間の内部売上高は含まれておりません。

【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	20,919	20,884	△34 (△0.2%)
調理加工食品	19,062	20,165	1,103 (5.8%)

① 加工食品事業

ハム・ソーセージ部門では、「燻製屋 熟成あらびきポークウインナー」や「いつも新鮮ロースハム」などの主力商品を中心に各種キャンペーン等の販売促進を実施し売上拡大を図りました。また、食べごたえと食感が特長の「ブリッとパリッとあらびきポーク」などの新商品を積極的に投入し拡販に努めました。これらの施策を行いましたが、お客様の節約志向を背景とする販売競争などから、当部門の売上高は前年同期比0.2%の減収となりました。

調理加工食品部門では、「ビストロ倶楽部 ビーフカレー」シリーズの拡販や、「シェフの匠」シリーズに期間限定商品「ホットキーマ」を投入したことなどにより、レトルトカレー商品が好調に推移しました。また、ワンハンドタイプのスナック「ラッパーズ」シリーズや春季新商品の「ホットドック」シリーズの拡販などによりスナック商品の売上高が伸長しました。デザート・飲料類につきましては、リニューアルしました「3層仕立てのジュレパルフェ」などの売上拡大に努めました。以上のことから、当部門の売上高は前年同期比5.8%の増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比2.7%増の410億50百万円となりました。営業利益は、エネルギーコストの上昇や、主力のハム・ソーセージ部門の減収などから前年同期比30.8%減の8億1百万円となりました。

② 食肉事業

牛肉につきましては、国産牛肉は相場が前年を下回り減収となる一方で、輸入牛肉は低価格帯の商品を中心に販売数量を伸ばしたことなどから、全体の売上高は好調に推移しました。豚肉につきましては、相場が前年並みで推移するなか、米国産チルド豚肉の積極的な拡販などにより販売数量・売上高ともに前年を上回りました。また、鶏肉につきましては、相場の上昇に加え販売数量が増加したことなどから、売上高は伸長しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比10.3%増の182億78百万円、営業利益は、収益性の高い輸入食肉の売上高が伸長したことなどから前年同期比49.3%増の6億51百万円となりました。

③ その他事業

その他事業の売上高は前年同期比19.3%減の34百万円、営業利益は前年同期比27.2%減の37百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

〔連結財政状態〕

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第1四半期 連結会計期間末	増減額
総資産	129,339	133,458	4,118
負債	53,049	56,286	3,236
純資産	76,290	77,171	881
自己資本比率	58.6%	57.5%	△1.1%

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が25億51百万円増加、商品及び製品が11億5百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ41億18百万円増加し、1,334億58百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が18億10百万円増加、賞与引当金が6億73百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ32億36百万円増加し、562億86百万円となりました。

純資産は、剰余金10億51百万円の配当がありました。親会社株主に帰属する四半期純利益10億57百万円の計上や、その他有価証券評価差額金が7億57百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ8億81百万円増加し、771億71百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末から1.1%低下し、57.5%となりました。

〔連結キャッシュ・フローの状況〕

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,474	912	△561
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,000	△1,348	△347
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,419	△1,995	423
現金及び現金同等物の増減額	△1,946	△2,431	△485
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,054	13,939	△1,115

営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資金の増加による減少要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益の計上などから、9億12百万円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備の増強・合理化や品質向上のための固定資産の取得による支出などから、13億48百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の返済や配当金の支払いなどから、19億95百万円減少しました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末から24億31百万円減少し、139億39百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月15日に発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,370	13,939
受取手形及び売掛金	25,925	28,476
商品及び製品	8,093	9,199
仕掛品	402	409
原材料及び貯蔵品	6,348	6,238
繰延税金資産	1,048	1,277
その他	1,325	2,297
貸倒引当金	△23	△21
流動資産合計	59,492	61,815
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	49,714	49,989
減価償却累計額	△35,003	△35,238
建物及び構築物(純額)	14,711	14,751
機械装置及び運搬具	53,862	54,182
減価償却累計額	△42,441	△42,826
機械装置及び運搬具(純額)	11,420	11,356
工具、器具及び備品	4,437	4,423
減価償却累計額	△2,868	△2,836
工具、器具及び備品(純額)	1,568	1,587
土地	19,056	19,019
リース資産	7,770	8,668
減価償却累計額	△3,048	△3,125
リース資産(純額)	4,722	5,543
建設仮勘定	326	455
有形固定資産合計	51,806	52,712
無形固定資産	1,083	1,333
投資その他の資産		
投資有価証券	12,338	13,428
長期貸付金	48	45
繰延税金資産	149	154
その他	4,564	4,102
貸倒引当金	△143	△135
投資その他の資産合計	16,957	17,595
固定資産合計	69,847	71,642
資産合計	129,339	133,458

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,348	25,159
短期借入金	4,537	4,043
1年内返済予定の長期借入金	1,992	1,877
リース債務	1,045	1,126
未払金	8,501	8,264
未払法人税等	933	506
未払消費税等	330	602
賞与引当金	978	1,651
その他	1,517	1,984
流動負債合計	43,184	45,216
固定負債		
長期借入金	2,638	2,472
リース債務	3,770	4,508
繰延税金負債	1,736	2,170
退職給付に係る負債	1,297	1,189
その他	423	728
固定負債合計	9,864	11,069
負債合計	53,049	56,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	22,086	22,086
利益剰余金	43,678	43,684
自己株式	△512	△513
株主資本合計	71,968	71,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,039	5,797
繰延ヘッジ損益	0	4
為替換算調整勘定	38	38
退職給付に係る調整累計額	△1,195	△1,084
その他の包括利益累計額合計	3,883	4,755
非支配株主持分	438	442
純資産合計	76,290	77,171
負債純資産合計	129,339	133,458

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	56,600	59,363
売上原価	43,029	45,735
売上総利益	13,571	13,628
販売費及び一般管理費	11,925	12,138
営業利益	1,645	1,490
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	19	4
不動産賃貸料	53	49
保険配当金	38	39
その他	78	61
営業外収益合計	195	160
営業外費用		
支払利息	51	44
その他	41	39
営業外費用合計	92	83
経常利益	1,747	1,566
特別利益		
固定資産処分益	24	70
特別利益合計	24	70
特別損失		
固定資産処分損	96	52
投資有価証券評価損	—	0
減損損失	3	—
特別損失合計	99	53
税金等調整前四半期純利益	1,672	1,583
法人税、住民税及び事業税	776	685
法人税等調整額	△261	△166
法人税等合計	514	518
四半期純利益	1,157	1,065
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,135	1,057

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	1,157	1,065
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△483	757
繰延ヘッジ損益	△21	3
為替換算調整勘定	41	—
退職給付に係る調整額	97	110
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△0
その他の包括利益合計	△368	871
四半期包括利益	788	1,936
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	767	1,928
非支配株主に係る四半期包括利益	21	8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,672	1,583
減価償却費	1,253	1,311
減損損失	3	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15	△10
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	38	46
受取利息及び受取配当金	△24	△9
支払利息	51	44
投資有価証券評価損益(△は益)	—	0
固定資産処分損益(△は益)	72	△18
売上債権の増減額(△は増加)	△1,663	△2,549
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,413	△1,001
仕入債務の増減額(△は減少)	1,507	1,822
未払消費税等の増減額(△は減少)	△714	272
その他	1,193	813
小計	1,961	2,305
利息及び配当金の受取額	170	138
利息の支払額	△43	△39
法人税等の支払額	△614	△648
特別退職金の支払額	—	△842
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,474	912
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△8	△9
固定資産の取得による支出	△1,119	△1,804
固定資産の売却による収入	186	542
その他	△59	△77
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,000	△1,348
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,065	△494
長期借入金の返済による支出	△271	△280
リース債務の返済による支出	△218	△231
配当金の支払額	△858	△985
その他	△5	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,419	△1,995
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,946	△2,431
現金及び現金同等物の期首残高	17,001	16,370
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,054	13,939

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	39,981	16,576	56,557	42	56,600	—	56,600
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	197	197	△197	—
計	39,981	16,576	56,557	240	56,797	△197	56,600
セグメント利益	1,158	435	1,594	51	1,645	—	1,645

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては3百万円であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	41,050	18,278	59,328	34	59,363	—	59,363
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	224	224	△224	—
計	41,050	18,278	59,328	259	59,587	△224	59,363
セグメント利益	801	651	1,452	37	1,490	—	1,490

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。